

平成30年度 第1回教育評価アンケート集計結果

【保護者】(複数の生徒が在籍している家庭は人数分の回答)

H30年7月実施

番号	設問		そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	無回答	計
1	学校は、学校だよりや学年だより、ホームページなどで学校教育目標や学校生活についてわかりやすく伝えている。	人	49	58	6	1	5	119
		%	(-6)41	(±0)48	5	0	4	100
2	学校は、子どもの健康や教育に関する連絡・相談に誠実に対応している。	人	40	58	8	5	8	119
		%	(-12)33	(+1)48	6	4	6	100
3	学校は、事故防止等安全指導の徹底に努めている。	人	42	63	7	3	4	119
		%	(-10)35	(+6)52	5	2	3	100
4	学校の施設・設備や掲示物などは教育環境の面でよく整備されている。	人	42	60	7	3	7	119
		%	(-22)35	(+14)50	5	2	5	100
5	学校は、生徒理解と情報収集に努め、問題を早期に把握して素早く対応している。	人	28	56	22	7	6	119
		%	(-10)23	(+3)47	18	5	5	100
6	教職員は、協力連携して熱心に生徒の指導にあたっている。	人	34	57	15	3	10	119
		%	(-9)28	(+2)47	12	2	8	100
7	教職員は、電話や来校者に対して丁寧に対応している。	人	57	50	5	1	6	119
		%	(-12)47	(+9)42	4	0	5	100
8	学校は、小規模校の特性を生かした教育活動の充実に努めている。	人	42	58	8	3	8	119
		%	(-12)35	(+8)48	6	2	6	100
9	生徒は、学校や地域で気持ちのよい挨拶をしている。	人	39	48	22	2	8	119
		%	(-10)32	(±0)40	18	1	6	100
10	生徒は、互いに協力しながら、授業や行事にまじめに取り組んでいる。	人	40	66	6	2	5	119
		%	(-7)33	(+10)55	5	1	4	100
11	家庭では、善悪の判断や、社会のルールを守ることに教えている。	人	63	51	3	0	2	119
		%	(-8)52	(+7)42	2	0	1	100
12	家庭では、子どもに「早寝・早起き・朝ごはん」が習慣になるように努めている。	人	43	56	17	1	2	119
		%	(±0)36	(+2)47	14	0	1	100
13	家庭では、子どもと会話するように心がけている。	人	78	39	1	0	1	119
		%	(-7)65	(+10)32	0	0	0	100
14	家庭では、事故防止の意識を高めるために話し合ったり、声をかけたりしている。	人	66	47	2	0	4	119
		%	(-3)55	(+8)39	1	0	3	100
15	家庭では、スマートフォンやインターネットの使用について、セキュリティの設定や、使用時間などの約束事を決めている。または家では使わせていない。	人	36	40	32	9	2	119
		%	(+3)30	(-7)33	26	7	1	100
16	授業参観や学校行事にはできるだけ参加するようにしている。	人	44	49	17	6	3	119
		%	(+8)36	(-3)41	14	5	2	100
17	「父母と先生の会」の総会や親子奉仕作業には出席するように心がけている。	人	41	43	18	7	10	119
		%	(-2)34	(-3)36	15	5	8	100
18	地域清掃や地域行事に子どもたちが参加することはよいことである。	人	86	22	4	0	6	118
		%	(-1)72	(-1)18	3	0	5	100
19	地域の子どもに、自分からあいさつや声かけをするようにしている。	人	41	57	16	2	3	119
		%	(+4)34	(-5)47	13	1	2	100
20	住民として、地域清掃や地域行事等にはできるだけ参加するようにしている。	人	51	40	12	5	11	119
		%	(+4)42	(-8)33	10	4	9	100

※ 百分率は小数点以下切捨てのため、数値の合計は100にならない。

()内は前回(H29.12)との比較

保護者の回答に関する考察

・学校及び教職員に関するすべての設問で「そう思う」の回答が減少し、肯定率も低下している。設問1～4の施設・設備、掲示物等の環境や情報発信については比較的高い肯定率であるが、前回同様、肯定的な回答の中でも「そう思う」から「ややそう思う」へ変化している傾向がある。

・設問5～8の、教職員の生徒指導対応や連携、教育活動については続けて肯定率が低下しており、特に設問5, 6についてはこれまでも課題としてきたところであるが、評価は低下している。生徒指導事案については、思春期という不安定な生徒の発達段階の影響もあるため、「表面化しにくい」、「人間関係のトラブルなど解決に時間を要する」などの特徴がある。学級担任や顧問などが一人で問題を抱え込むことのないようチーム学校として組織的な対応を心がけ、関係者が情報共有し、連携、協力して指導、対応できるよう努める。

・生徒に関する設問や家庭教育に関する設問については、そのほとんどで前回より肯定率が向上しているものの、前年同時期との比較ではほぼ同程度である。設問15のスマートフォン等の扱いについては全設問中最下位の肯定率が続いている。外部の専門家を招き、生徒及び保護者を対象とした講演会も4月と7月に実施したが、改善の兆しは見られない。

・PTA活動、地域活動への参加意識が低下している。前年同時期まで最も高い肯定率を示していた地域と子どもの関わりに対する設問でも肯定率の低下は続いており、学校や地域を支える一員としての保護者自身の意識低下が懸念される。北中後援会活動をととして学校が保護者と地域の橋渡し役となり、地域全体で子どもの教育ができるよう働きかけたい。

【生徒】

H30年7月実施

番号	設問		そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	無回答	計
1	学校の施設・設備や掲示物等は適切に整備され、安全で良好な環境となっている。	人 %	76 (-13)56	42 (+3)31	9 6	1 0	6 4	134 100
2	学校は、小規模校であることを活かして授業や行事などを行っている。	人 %	64 (-22)47	56 (+18)41	10 7	3 2	1 0	134 100
3	学校は、友人関係のトラブルが少なく、落ち着いて学習できる雰囲気である。	人 %	37 (-10)27	44 (-10)32	33 24	17 12	3 2	134 100
4	学校の各教科の授業は充実している。	人 %	45 (-22)33	54 (+10)40	27 20	5 3	3 2	134 100
5	学校の行事や生徒会活動、部活動等は充実している。	人 %	73 (-15)54	41 (+8)30	14 10	2 1	4 2	134 100
6	先生方は、交通事故防止のために、日々熱心に指導している。	人 %	60 (-15)44	55 (+4)41	12 8	3 2	4 2	134 100
7	先生方は、互いに助け合い、協力して指導にあたっている。	人 %	59 (-2)44	45 (-10)33	14 10	9 6	7 5	134 100
8	先生方は、適切な言葉遣いで指導にあたっている。	人 %	54 (-13)40	50 (±0)37	20 14	9 6	1 0	134 100
9	先生方は、生徒の色々な問題や課題について一緒に考え、適切に助言してくれる。	人 %	59 (-9)44	46 (-2)34	18 13	9 6	2 1	134 100
10	私は、学校教育目標を覚えており、口に出して言える。	人 %	63 (-30)47	27 (+6)20	24 17	19 14	1 0	134 100
11	私は、学校での授業やその他活動に一生懸命取り組んでいる。	人 %	68 (-13)50	55 (+9)41	9 6	1 0	1 0	134 100
12	私は、毎日学校に来るのが楽しみである。	人 %	35 (-12)26	55 (-5)41	25 18	18 13	1 0	134 100
13	私は、「早寝・早起き・朝ご飯」等、規則正しい生活を心がけている。	人 %	44 (-7)32	43 (+4)32	30 22	13 9	4 2	134 100
14	私は、スマートフォンやインターネットを使用するときは、人を傷つけたり、トラブルに巻き込まれたりしないように気をつけている。	人 %	102 (-5)76	27 (+5)20	3 2	0 0	2 1	134 100
15	私は、ほぼ毎日、家庭学習を1時間以上やっている。(塾での勉強を含む)	人 %	57 (-12)42	32 (-3)23	28 20	17 12	0 0	134 100
16	私は、地域の方々が自分たちに声をかけてくれることが増えたと思う。	人 %	37 (-12)27	39 (-1)29	39 29	18 13	1 0	134 100
17	私は、ボランティア活動や社会貢献活動は大切だと思う。	人 %	92 (-11)68	37 (+11)27	3 2	1 0	1 0	134 100
18	私は、今年度、地域清掃や地域行事のボランティア活動等に参加した。 4回以上：2～3回：1回：0回	人 %	10 (-18)7	39 (-15)29	50 37	32 23	3 2	134 100
19	私は、今後も機会があればボランティア活動や社会貢献活動に参加したいと思う。	人 %	76 (-19)56	37 (+10)27	16 11	3 2	2 1	134 100

※ 百分率は小数点以下切捨てのため、数値の合計は100にならない。()内は前回(H29.12)との比較

生徒の回答に関する考察

・すべての設問で前回より「そう思う」が減少し、肯定率が低下した。設問18については、調査の時期的な関係もあり肯定率の低下は当然であるが、他にも10%以上肯定率が低下した設問が多くあり、前年同時期と比較しても低下している設問が多い。全体として生徒は昨年度より学校生活に満足していないといえる。教職員は保護者や地域、関係機関と連携を深め、危機感を持って対応しなければならない。

・学校生活や人間関係に起因する設問における肯定率の低下は、進級、入学による環境の変化や新たな人間関係への適応に時間と労力を要し、不満やストレスを感じていることが要因と考えられる。今年度は定期人事異動で多くの教職員が入れ替わり、8学級中6学級で新しい学級担任になったことも生徒が年度当初に教職員との人間関係で距離を感じた一因となったと思われる。

・設問3、12については前年度調査でも最重要課題とした設問である。人間関係のトラブルがなく授業に落ち着いて取り組めること、学校に来るのが楽しみであることは、学校生活の充実のために欠くことのできない要素である。2学期以降の多くの行事や体験的活動をとおして新たな人間関係を構築するとともに、学級における自分の在り方や居場所を見つけられるようにしたい。また、各学年の段階に応じたキャリア教育をとおして、学ぶことの意義や目的に目を向けさせ、主体的に集中して授業に取り組む雰囲気を高めたい。

・設問14については、生徒の意識と実態が異なっており、対応に苦慮している事案の1つである。今年度は4月と7月に外部から専門家を招き、スマートフォンやインターネットの使い方に関する講演会を実施した。しかし、一部の生徒によるSNSへの安易な投稿や書き込みによるトラブルは度々発生しており、生徒はリスクを十分に理解していないと思われる。保護者の積極的な関与が望まれる。

(考察:教頭 和田 賢市)